

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Liebeおおがま		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 12日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 26年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちからの満足度が高く、「いきたい!」「次いつ?」といったお言葉をいただきやすい。	子どもが喜ぶようなイベントを考えたり、職員同士の雰囲気が険悪にならないように日頃からの連携を密に取っている	レクリエーションの幅を広げることや、個々の特徴を把握してそれぞれの児童が喜ぶ遊びなどを今後も取り入れていきたい。
2	事故発生時の早期対応ができています	有事の際には、すぐに行動できるようにマニュアルを作成し、それに沿って行動できるように周知されている。	発生事例をもとに、振り返りや事例検討を行うことで再度発生してしまった場合にも早期対応をできるように準備をする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士のつながりを持つ場の創出が出来ていない	親子イベントなどを企画するが、保護者同士のみの時間を作れず、関係性が希薄な印象が見られる。	親子イベントの他に、保護者に対するペアレントトレーニングの場や交流を深める場を企画していく必要がある。
2	地域とのつながりが希薄である	地域とのつながりが弱く、家庭と本児の通う場所のみになっている。	地域のボランティアを呼んでの交流イベントを企画したり、学校に赴き教職員との連携を取ることで、児童や保護者のつながりの幅を広げていく。
3			